光る知性　豊かな心　強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校
令和 6年 9月 3日
校長　柿　崎　　円



【Brush up キャンペーン】実施中

生徒昇降口には創立４３年目の生徒会スローガンが掲げられています。５月の生徒総会で、「私たちの姿や行動を磨き上げ、先輩たちから受け継いできた南中 PRIDE（みそあじうまいよネ！）をさらに意識して生活し、南中生の本物の誇りにしよう」と決めたスローガンです。スローガン看板はポップなデザインで、今年度ならではの【４３】の数字が入った躍動感あふれるものです。

全校朝会で、生徒会長から「Brush up キャンペーン」についての話がありました。来月行われる運動会の活動とタイアップし、今の南中生のあいさつを Brush up させようというものでした。「組対抗あいさつ運動」「校歌合戦」「日常あいさつの評価」を行い、運動会の点数に一部反映させていくことで運動会への意識を高める。運動会活動をきっかけに、全員で日常のあいさつと生活に活気と勢いをつける。これらを目的としたキャンペーンです。



今朝は、企画会、生活委員会、応援団、ボランティア委員会、２年修学旅行実行委員会のメンバーが昇降口前に立ち仲間を出迎えました。

右の写真をご覧ください。

企画会のメンバーはディズニーランドのキャストになったつもりで、登校してくる人たちに手を振ってあいさつをしました。自分たちが笑顔であいさつをすれば、笑顔のあいさつがかえってくるだろう。自分たちが楽しく活動す





れば、みんなにも楽しさが伝わり気持ちのいいあいさつが循環するだろう。そんなことを考えての「キャストなりきりあいさつ」です。おもしろい発想だと感心します。

　生活委員会は旗を持って全校生を迎え、応援団はおはようエールで仲間の背中を押してくれます。ボランティア委員会はアルミ缶回収に協力してくれた人に「Thank you カード」を渡し、感謝の気持ちをプラスしたあいさつ。２年修学旅行実行委員は来週の修学旅行を見据え、スローガンを持っての整然としたあいさつ…。それぞれの立場で何ができるかを考え、南中 PRIDE の Brush up を目指したあいさつ運動が繰り広げられています。

　明日は組役員が昇降口前に立つとか？？笑顔と本気をどんどん波及させ、Brush up された南中の１日がスタートします。

おめでとう　県美展



【奨励賞】　「散らばった文房具」
１年　　さん

【入　選】　「試行錯誤の夜明けの絵」
１年　　さん



　応募数１１８４０点の中から、２人の作品が入賞しました。おめでとうございます。県美展長井巡回展は９月２５日（水）～３０日（月）まで市民文化会館で開催されます。２人の作品をはじめ、素晴らしい感性が光る作品に触れてみてはいかがでしょうか。

【審査員　水島尚喜さん（清新女子大教授）講評】

　絵は能力のある人だけのものではなく、表現したいという気持ちが前提にある。（中略）かつて子どもが絵を描くことは社会の希望だと言われた時期があった。今こそ子どもが絵を描くこと大切にする意味を考えなければならない時代だと思う。見たり感じたりしたことを自分の力で伝えたい、表現したいと思うのは普通のこと。それができにくい社会だからこそ先生方には子どもと一緒に楽しみながら本来持っているものに根差してバックアップしてもらいたい。そうすれば、山形の子どもたちの作品は益々豊かなものになると思う。　（山形新聞より）

子どもの「表現したい」気持ちを引き出し、大切にする。見たり感じたりしたことを自分の力で伝えたり表現したりする子どもを支える。そんな南中教職員であるよう努力していきます。